

# 環境にやさしいまちづくりの実現へ レジ袋削減の取り組み状況をお知らせします

地球温暖化防止対策は、全国でさまざまな取り組みが行われており、レジ袋を使用しないことも、その取り組みの一つです。

市では、資源の節約とゴミの削減、二酸化炭素の排出削減のために、買い物の際にレジ袋を使わない運動を展開し、「レジ袋削減に向けた取組に関する協定」を締結している12事業者29店舗においては、レジ袋の無料配布を中止しています。

協定締結店舗（平成23年4月から参加のラピタきた店を除く12事業者28店舗）の平成22年度下半期マイバッグ平均持参率は、86.8%でした。

市民一人一人が環境の大切さを理解し、買い物にはマイバックやマイバスケットを持参して、身近なことから取り組んでいきたいと思います。

## 特別事業者<sup>\*1</sup>におけるレジ袋削減の取り組み状況(平成22年度下半期分)

事業者名	レジ袋無料配布中止の取組の有無	マイバック平均持参率	レジ袋収益金の活用方法 (無料配布中止店舗のみ)
イオンリテール(株) (イオン)	有	84.0%	・出雲市環境保全連合会への寄付
(株)イズミ(ゆめタウン、イズミ)	有	83.6%	・出雲市環境保全連合会への寄付
(協)出雲ショッピングセンター (バラオ)	休止中	—	—
(株)ウシオ(グッディー)	有	83.5%	・出雲市環境保全連合会への寄付 ・「中国CGCみどりところの基金」への寄付
(株)小田商店(おだ)	有	91.3%	・出雲市環境保全連合会への寄付
JAいずも(ラピタ)	有	89.8%	・JA独自の女性部組織が行う環境活動への助成 ・マイバッグの無料配布
(協)大社ショッピングセンター (エル)	有	82.0%	・環境団体等への寄付
(株)フーズマーケットホック (ホック)	有	85.7%	・出雲市環境保全連合会への寄付 ・廃トレ、牛乳パック、牛乳瓶の回収 など
(株)マルマン(マルマン)	有	79.3%	・トレ回収箱の整備
(株)丸合(丸合)	無	40.5%	
(株)トライアルカンパニー (トライアル)	無	調査なし	

この取り組み状況一覧は、「出雲市レジ袋削減の推進に関する条例」第8条に基づく公表です。

\*特別事業者とは、出雲市内に1,000㎡以上の店舗面積を有し、かつ、食品衛生法第52条第1項の許可を受けた小売業者をいいます。



おたすね  
環境生活課  
TEL 0854-69987

上記の表以外で、協定に基づきレジ袋無料配布中止に取り組んでいる事業者は、次のとおりです。

- 社会福祉法人親和会 ふたば(市役所売店)
- (株)ハーティウォンツ(ウォンツ)
- (有)藤増ストア(藤増ストア)



### レジ袋収益金が環境保全活動に役立てられます

5月17日、市環境保全連合会(和泉一郎会長)の総会に先立ち、6事業者がレジ袋収益金の一部を連合会へ寄付しました。寄付金は、今後連合会の環境保全活動に活用されます。

なお、寄付をした事業者は、**表中の太字5事業者**および、社会福祉法人親和会ふたば(市役所売店)の、あわせて6事業者です。

◀寄付金贈呈の様子

# 行財政改革第2期実施計画の取組進捗状況

安定した行財政運営を実現するため、合併後おおむね10年間の行財政改革の指針となる「出雲市行財政改革大綱」を策定しています。これを踏まえ、昨年度から後期5か年を対象とする「第2期実施計画（平成22～26年度）」に基づいた取組を進めているところです。

このたび、計画期間の1年目となる平成22年度の成果について取りまとめましたので、その内容を紹介します。

## 第2期実施計画に係る取組の進捗状況

実施方針	取組内容	財政効果額
1. 行政の効率化	・事務事業の見直しと業務の民間委託の推進 ・外郭団体の見直し など	30.8
2. 定員管理と給与の適正化	・定員管理の適正化 ・職員給与の適正化と総人件費の抑制・縮減 など	758.9
3. 自治自立の財政運営	・新市建設への財源確保・節減 ・使用料等の負担と補助金等の受益のあり方の検討	157.1
合計		946.8

※「財政効果額」の単位は百万円

行政改革推進課 TEL 21-6265

○**教育相談**  
お子さんの発達、学校や家庭での様子が気になる保護者の方などの相談を受けています。本校に来ていただく来校相談やこちらから出かけてさせていただく巡回相談、電話での相談など、できるだけ相談者のニーズに合う形で相談を心がけています。

○**学校見学や体験学習**  
就学について悩んでおられる保護者やご本人などを対象に、本校での学習の様子の見学や、学校施設の内・説明を行っています。また、実際に子どもたちの学習に参加し、体験することもできます。

○**出雲養護学校での地域支援活動**  
出雲養護学校は、出雲地域にある唯一の特別支援学校です。小学部、中学部、高等部があり、多くの子どもたちが学習しています。本校では、次のような地域支援活動を行っています。

～出雲養護学校での地域支援活動～

**えがおになあれ**  
⑮

子どもたちが明るく元気に育つのは見ると、未来に希望を感じます。  
毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人も、「えがおになあれ」…そんな願いを込めて、このコーナーを設けました。  
(出雲市要保護児童対策地域協議会)



小学部の授業風景です。毎日、友だちや先生と元気いっぱい学習しています。

○**乳幼児相談「びよんびよん教室」**  
ことばや発達が気になる乳幼児を対象に月1回の親子教室を開催しています。お子さんが楽しめる活動を提供し、親子で過ごせる場所を一つでも多く持っていたいただこうと考えています。

本校では、特別な支援が必要な子どもさん一人ひとりの可能性を伸ばし、生活力や人との関わり、豊かな人間性が育まれるよう、日々の教育活動を行っています。詳しくお知りになりたい方は、出雲養護学校 特別支援教育コーディネーターにお問い合わせてください。(☎43-2260)

要保護児童対策地域協議会は、子どもが健やかに育つよう社会のさまざまな機関が子育て中の家庭を見守り、必要に応じて支援し、児童虐待等のない社会を目指すために組織したものです。

要保護児童対策地域協議会は、子どもが健やかに育つよう社会のさまざまな機関が子育て中の家庭を見守り、必要に応じて支援し、児童虐待等のない社会を目指すために組織したものです。